

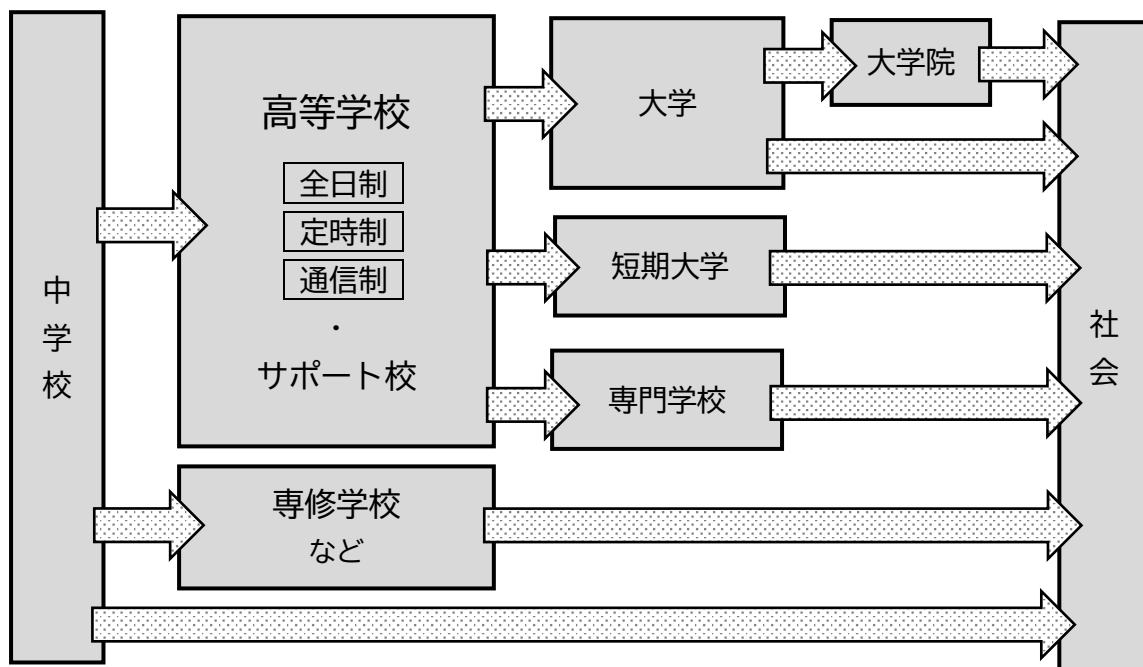
進路だより

藤沢市立大庭中学校 進路担当

2023. 6. 8

No. 2

6月20日(火)に〆切りの進路希望調査の記入に向けて、中学校を卒業したらどんな進路があるかを紹介します。多種多様な「道」がありますので、表された矢印以外にも進む道はあります。



【高等学校】

「公立」と「私立」という違い以外にも、学習内容（課程・学科）の違いなど様々な種類があります。たくさんの学校があるので、自分が3年間頑張ることができる学校を選び、受験（受検）します。多くの場合、私立は12月上旬、公立は1月中旬に受験（受検）校を最終決定します。先を見ながら進めてください。なお、「令和6年度神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準及び特色検査の概要」が、6月9日（金）17時以降に発表されます。右のQRコードまたは下のアドレスにて、ご確認ください。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/senko_kijun.html



【サポート校】

学習面の支援や精神的なケアなどの支援を行い、生徒が通信制高校をきちんと卒業できるようサポートする教育施設です。こちらも色々なタイプがありますので、よく調べて見学に行きましょう。通信制高校に籍を置きつつサポート校に通いますが、サポート校で授業を受けるだけでは高校の単位取得にはならないので、レポート提出やスクーリングなどが必要です。

【専修学校】

工業・商業・調理・理容・美容・デザインなどの専門的な技能と知識の授業を受ける学校です。高等学校の卒業資格をあわせてとることができる専修学校も多数あります。

【就職】

ここ数年就職状況は大変厳しいものがあります。10月頃にハローワーク（公共職業安定所）から求人一覧が発表されます。知人などからの紹介による方法もあります。早めに担任の先生に相談しましょう。

○ 兎に角、学校を自分で調べるところから始めよう！

中学3年生の担任をしていると、お決まりのようにこの質問を受けます。

「自分の成績だったら、どの学校に行けますか？」

人生の先輩（親や先生）に相談をすることは悪いことではありません。しかし、ゼロベース（何も考えていない・何も調べていない）は、もうすぐ義務教育が終わってしまうみなさんにとって良い状態とは言えません。高校生活は3年間です。高校の決め方の入り口がこの質問の状態、本当に3年間、その場所で頑張り切ることができるでしょうか。大切なことは、自分が進学した先で「何を学びたいのか」「どんなことに力を注ぎたいのか」です。それを見つけるためにもまずは調べるのが重要です。学習・特色・行事・部活動等・・・、学校によって力の入れ方は多種多様です。最終的にみなさんの支えとなるものは“自分はこの学校でこれをやりたい”という思いです。

自分の気持ちを固めるためにも、夏休みに2校以上の学校説明会や見学会等に参加してください。コロナ禍の影響で減っていた授業や部活動の体験会が復活している学校もあります。見学を通して、高校生活の具体的なイメージを膨らませましょう。そして、自分に合う進路先を見つけ、目標に向けて今、何をしなければいけないのかを考えて実行してください。

今年度も学校説明会はホームページで＜要予約＞となっているところが多くあります。自分で高校のホームページを見て、申し込んでください。6月・7月から予約開始の学校もあれば、すでに予約が始まっていて、定員に達してしまった学校もあります。気がついた時には、行きたいと思っていた学校の予約がもういっぱい、参加することが出来なかった…とならないようにしたいです。ポスターやチラシには見学会の日時が掲載されていても、まだ高校側が準備中でホームページに掲載されていない場合もあります。興味がある学校についてはこまめにチェックするようにしましょう。

○ 神奈川の高校展2023「全公立展」のお知らせ

6月17日（土）に開催される「全公立展」のお知らせを配付しました。完全予約制で、6月5日（月）から受付が始まりましたが、初日で申し込み枠の3分の1が「受付終了」となっています。参加を希望される場合は、早めにご準備ください。

○ 神奈川全私学中高展2023のお知らせ

7月17日（月・祝）に開催される「全私学中高展」のお知らせを配付しました。こちらも完全予約制で、6月29日（木）昼12時から受付が始まります。参加を希望される場合は、早めにご準備ください。

○ 藤沢地区公私合同説明会のお知らせ

8月9日（水）日本大学生物資源科学部にて藤沢市近隣の公立・私立高校の合同説明会が開催されます。現段階でお知らせできるのは開催日と場所のみです。詳細は追ってお知らせします。

※「全公立展」や「全私学中高展」では、さまざまな学校について一度に知ることができますが、実際の学校へ行かなければ、分からない部分もあります。興味のある学校には直接足を運んで、自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じてくるようにしましょう。